

単元名 いい おと みつけて

配当時間 7時間

- 単元の目標 (1) さまざまな音の特徴、楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付くとともに、設定した条件に基づいて即興的に音を選んだりつなげたりする技能や、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けることができる。
- (2) 楽器の音や呼びかけ合いを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりすることができる。
- (3) 自分や友達の出す音や、その違いに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

01070202_001

【教材名】 いろいろなおとをみつけよう（音楽づくり） がっきのおとでよびかけっこしよう（音楽づくり） こうしんきょく（鑑賞） （P. 42～P. 45）

【準備等】 タンブリン、太太鼓、シンバル、トライアングル、カスタネット、鈴、鑑賞CD

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～3 いろいろな楽器で音探しをし、お気に入りの音を見付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ トライアングルで自由に音を出したり、音探しをしたりして楽しむ。 ★ いろいろな おとを みつけよう ○ グループ内で1番のお気に入りの音を探して発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ グループで1つのお気に入りの音を決める。 ・ 全員がその音を出せるように繰り返し試す。 ・ グループごとに発表をし、感じたことを交流する。 ○ トライアングルでいい音を出すための奏法を知る。 ○ いろいろな楽器で音探しをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ タンブリン→打ち方や振り方を考える。 ・ 太太鼓→打つ強さや音の長さを変える。 ・ シンバル→打つものや打つ強さ、音の長さを変える。 ○ 気に入った音の一つを選んで、言葉や絵で表現する。 ○ お気に入りの楽器や音で「いい音リレー」をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ お気に入りの楽器を選ぶ。 ・ リレー形式で一人一音お気に入りの音を鳴らす。 ○ 条件を設定して「いい音リレー」をする。 <p>【条件例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 強さを変えて。 ・ 打ち方や振り方を変えて。 ・ 面白い打ち方で。 など <p>4～7 リズムの呼びかけっこをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 手拍子や足踏みで、リズムの呼びかけっこをする。 ★ がっきの おとで よびかけっこしよう <ol style="list-style-type: none"> ① まねっこ→同じリズムで。 ② 呼びかけっこ→別のリズムや強さで ○ 楽器の音で呼びかけたりこたえたりする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 2人が同じ楽器を使う。 ・ 2人が違う楽器を使う。 ○ グループごとに楽器の音で呼びかけっこする。 <ol style="list-style-type: none"> ① トライアングル役を決める。 ② トライアングル以外の子どもの打つ楽器を決める。 ③ トライアングルが響いている間に他の楽器を順番に打っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「トライアングルはどんな音が出せるかな」と問いかける。 ・ 友達の表現を聴いて感じたことを発表させる ・ 4～6名程度のグループで活動させる。 ・ お気に入りの音の基準は、自分が聴いていて「いい音」ということを伝えておく。 ・ お気に入りの音を決める際には混乱が起きることも考えられるので、こまめに声掛けをしたり支援したりする。 【評】 グループでいい音を探したり、発表したりする活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・ いい音探しで児童が表現したことや言語化したことを生かしながら、奏法の指導をする。 ・ いい音が出る持ち方や打ち方を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 打つ場所によって響きが違うことに気付かせる。 ・ ここではタンブリン、太太鼓、シンバルを取り上げ、数台ずつ用意しておく。 ・ ばちやマレットなどを数種類用意しておく。 <p>【共通事項】 音色</p> <p>【評】 いろいろな楽器で音探しをする活動を通して「知識」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ お気に入りの楽器が重ならないように、各自いくつかお気に入りの楽器を考えさせる。 ・ ここでは拍節に関係なく表現させる。 ・ 何を工夫して表現すればいいのかが分かるように、具体的に条件を提示する。 <p>【共通事項】 強弱</p> <p>【評】 条件に基づいて即興的に音を選んだりつなげたりする活動を通して「技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童が真似しやすいリズムから始め、打つ位置や強さを変えて、音色や強弱を変化させながらリズムを打つようにする。 <p>【共通事項】 強弱</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ まねっこをしたり、強さを変えたりしてこたえさせる。 ・ 演奏後には、どんな気持ちで表現したのかを問いかける。 ・ 全員が経験できるよう、打楽器を数種類用意したり、場の工夫をしたりする。 <p>【評】 楽器の音で呼びかけっこをする活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループ内で同じ楽器ばかりにならないように、各自第3希望の楽器まで考えさせておく ・ グループごとに演奏させ、耳を澄まして聴くことが大切であることを伝える。 <p>【評】 自分の出す音と友達の出す音の違いに興</p>

- 4分音符や8分音符のリズムを使って、自分のリズムをつくる。
 - ・「たん」や「たた」を手で打って考える。
- つくったリズムを楽器で演奏する。
- つくったリズムを使って、友達と呼びかけたりこたえたりしてつなげる。
- 「こうしんきょく」を呼びかけとこたえに着目して聴く
 - ・ 1回目…座って聴く。
 - ・ 2回目…呼びかけあっていると思ったところは立って聴く。
- 8人ぐらいのグループに分かれて、簡単な動きを通して呼びかけとこたえを感じ取りながら聴く。

味をもって聴く活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

- ・ 教科書P.45の例を参考に、リズムの書き方を伝えておく。
- ・ 友達と同じリズムになってもよいことを伝える。

【共通事項】リズム

- ・ リズムだけでなく、楽器の音色にも注目するよう伝える。
- ・ 拍にのって演奏できるよう、教師が拍打ちなどをして支援する。

【共通事項】音色

- ・ 二人ずつペアになって呼びかけっこさせる。
- ・ 打つ場所や、強さなどを変えて呼びかけっこするとよいことを伝える。
- ・ 呼びかけ合いの回数を決めておく。
- ・ 演奏後には、どんな気持ちで表現したのか問いかける。

【評】音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる活動を通して「技能」を評価する。

- ・ これまで楽器で行ってきた呼びかけっこの学習を振り返り、曲中に同じようなところがあることを伝えておく。

【共通事項】呼びかけとこたえ

- ・ グループ内を呼びかけチームとこたえチームに分け、曲の中での呼びかけとこたえの部分を聴いて感じたことを簡単な動きで表すよう伝える。
- ・ 簡単な動きとして、立ったり座ったり、前や後ろに歩いたり、回ったりすることを提示する。

【評】楽器の音や呼びかけ合いを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取って表現する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。

【 備 考 】